

共同助成(三重県遊技業協同組合)

「三重県におけるギャンブリング問題を持つ本人のための拠点作りとパフォーマンススタジオの運営」事業

伊勢志摩地域に依存問題からの回復支援拠点を
作るとともに関係機関とのネットワークを構築

ギャンブル、アルコール、薬物など、様々な依存からのリカバリーに携わってきた「三重ダルク」が、近年、パチンコやパチスロなどののめり込みに関する相談が増加している伊勢志摩地域に新たな回復支援のための拠点を整備し、その広報のための準備と今後の支援活動の発展のための関係機関とのネットワークづくりを行なった。



助成金の一部を活用し機関紙「ニュースレター」とホームページを新たに制作

依存問題の支援施設の空白地帯に
拠点を作って支援活動を拡充する

1999年に、三重県津市において薬物依存からの回復を目指す当事者活動としてスタートした「三重ダルク」。現在は依存者（アルコール・ギャンブル・薬物・窃盗癖など）に対する電話やメール、直接来所での相談、回復支援に365日体制で取り組んでいる。とりわけ、障がい福祉サービス事業（グループホーム・自立訓練〔生活訓練〕・就労継続B型事業所）の運営を通し、依存の問題を抱えた人の安全な生活の確保、問題の振り返り、解決法の獲得、就労・自立に必要な社会スキルの獲得を目指しているほか、メンバーおよびスタッフの学習（高校・大学・専門学校・国家資格取得）を推進している。

三重県は主要な都市が県内に広く分散しているが、依存症関連の問題に対する支援に関しては、県庁所在地

である津市に集中し、それ以外の地方在住者には支援を受けにくいという特徴があった。とりわけ近年、パチンコやパチスロなどののめり込みに関する相談が激増しており、特に伊勢志摩地域においてその傾向が顕著であったが、相談件数の多さにもかかわらず、支援が届きにくいという状況にあった。このため同団体では、志摩市および周辺地区に在住する依存問題を抱える人々たちへの支援体制の整備を行いたいとかねがね考えていたが、2020年度、POSCの助成を受け、志摩市内に拠点となる物件を借り、必要ときに必要な相談が行えるような体制を整えた。

また、伊勢志摩地域に支援拠点ができたことや同団体が広くギャンブル関連問題の支援を行なっていることを周知するために、年3回発行する機関紙『ニュースレター』の制作、ホームページの刷新などにもPOSCの助成の一部が活用された。

地域の中核病院や周辺自治体との
連携構築で今後の活動に繋げる

今回の助成は、本来、外部講師の招聘と回復支援のための既設のパフォーマンススタジオ「漂流劇場」（津市）の改装に充てる予定であったが、コロナ禍の状況で計画の一部を変更した。また、こうした活動と並行し、伊勢志摩地域の関係機関（志摩市民病院、志摩市役所など）とのネットワークづくりにも取り組み（志摩市への往復約50回、延べ40名参加）、次年度以降の活動の準備を行なった。

「伊勢志摩地域には、すでに5年間ほどアウトリーチ（訪問支援）を行なっており、活動拠点の確保は長い間望まれてきたことでしたが、予算的なことから果たせずにいました。今回、POSCから助成を受けられることになり、活動の足がかりを得られたことは大きな喜びでした。すでに相談者も繋がっており、今後さらなる活動の発展が期待されることです。また、志摩市民病院との協力関係、当該エリアの市町村との連携が図られたことも本事業の大きな成

果です。その結果、「地域共生」をテーマにした志摩市の福祉イベント（コロナ緊急事態宣言により延期）における基調講演を依頼されるなど、地域ネットワークの一員として認知されることができました。今後予定されている社会参加のためのプロジェクトについても、市町村から期待の声が上がっています」と、代表者の市川さんは話す。

依存問題からの回復支援拠点となる不動産物件を探す際、事業主体が「三重ダルク」であることを伝えると断られたり、借りられない物件があったりして、依存の問題を抱える当事者が置かれている現実の状況を垣間見ることもあったという。

三重県遊技業協同組合より

支援が届きにくい地域での活動に賛同させていただきます。今後も活動の発展に期待しています。



改装を予定していたパフォーマンススタジオ「漂流劇場」



伊勢志摩にオープンした新しい拠点“LABO”

助成団体:特定非営利活動法人 三重ダルク

<https://miedarc.com/>



志摩地域に活動の足がかりを得られたことは大きな喜びです

2020年度の助成に対し、心より感謝申し上げます。私たちのプロジェクトは既存の支援活動とは異なり、当事者主体の取り組みを目指しています。こうした制度化されていない取り組みに対し、今後も継続した支援をお願いするとともに、社会変革のパートナーとしていてくださることを望みます。

特定非営利活動法人 三重ダルク
代表 市川 岳仁さん